



クリティカル領域の診療看護師 (NP) を目指す!

2年間の道のり

2024.5.1

1年次 Master1



研究：
指導教員決定 →

8月-9月
夏季休業期間
※一部科目開講あり

研究：計画書発表会 →

後期筆記・実技試験 2-3月



ここが Point !

1年次の授業の多くを実習施設の
医師および診療看護師(JNP)が担当。
本学で教授した医師(臨床教授)の
もとで実習ができます。

研究発表会 1月



● 4月 入学・前期スタート

疾病に対する理解を深め、
臨床推論のための知識等を学びます。
また、研究の進め方も学びます。

● 8月 前期筆記試験

レポート試験や課題発表で評価を
行う科目もあります。

● 10月 後期スタート

前期に比べ演習科目が増え、具体的に診療看護師(NP)
の働きをイメージした学びになります。
臨床現場での放射線診断学の見学実習も実施します。

● 慶應義塾大学医学部での解剖見学

● 3月 統合演習〔シミュレーション演習〕

シミュレーション教育指導者が担当します。

● 山形大学での解剖学演習

● 4月 OSCE試験

筆記試験を実施し、合格者は
OSCE(客観的臨床能力試験)
を受験、OSCEに合格すると
「統合実習」に参加できます。

● 6月-12月 統合実習

17週間の実習を総合内科、循環器内科、呼吸器内科、救急科、外科、
脳神経外科、心臓血管外科、麻酔科の8診療科にて実施します。
病理解剖の見学も行います。

● 2月 最終試験

● 3月 NP資格認定試験〔日本NP教育大学院協議会〕

学位記授与式

特定行為研修修了証交付



診療看護師(NP)として
新たなステージへ!



特定行為研修もスタート!
(全21区分38行為)

本コースは「特定行為に
係る看護師の研修制度」の
指定研修機関です。

1年次

ある月のスケジュール

※黒文字は必修、白文字は選択科目。時間割は毎年変更、必要に応じて土曜・夜間開講対応あり。

月日	曜	1時限目(8:30-10:30)	2時限目(10:40-12:40)	3時限目(13:00-15:00)	4時限目(15:10-17:10)
6月1日	木	フィジカルアセスメント学演習	フィジカルアセスメント学演習	ハローワーク対応日(教育訓練給付制度対応)	
6月2日	金	研究特論	研究特論	研究特論	研究特論
6月3日	土				
6月4日	日				
6月5日	月		臨床薬理学特論	フィジカルアセスメント学演習	フィジカルアセスメント学演習
6月6日	火	NPIによるチーム医療特論	臨床推論		臨床薬理学特論
6月7日	水	クリティカル疾病特論	臨床推論	臨床推論	臨床推論
6月8日	木	原著論文講読	看護管理学特論	看護管理学特論	クリティカル疾病特論
6月9日	金	フィジカルアセスメント学演習	クリティカル疾病特論	臨床推論	診察・診断学特論
6月10日	土				
6月11日	日				
6月12日	月	臨床推論	臨床推論	臨床推論	臨床推論
6月13日	火	原著論文講読	臨床推論	臨床推論	臨床薬理学特論
6月14日	水	クリティカル疾病特論	看護管理学特論	人体構造機能論・演習	フィジカルアセスメント学演習
6月15日	木	クリティカルNP特論			クリティカル疾病特論
6月16日	金		研究特論	臨床推論	臨床推論
6月17日	土				
6月18日	日				
6月19日	月	クリティカル疾病特論	クリティカル疾病特論	クリティカル疾病特論	クリティカル疾病特論
6月20日	火				フィジカルアセスメント学演習
6月21日	水	臨床推論	看護管理学特論	臨床推論	臨床推論
6月22日	木	臨床薬理学特論	NPIによるチーム医療特論	政策医療特論	フィジカルアセスメント学演習
6月23日	金	原著論文講読	研究特論	クリティカル疾病特論	
6月24日	土				
6月25日	日				
6月26日	月	臨床推論	クリティカル疾病特論		クリティカル疾病特論
6月27日	火	診察・診断学特論		NPIによるチーム医療特論	臨床推論
6月28日	水	フィジカルアセスメント学演習	フィジカルアセスメント学演習	臨床推論	原著論文講読
6月29日	木	臨床薬理学特論	看護管理学特論		
6月30日	金	ラボラトリー・メソッド特論	研究特論	フィジカルアセスメント学演習	医療倫理特論

さまざまな 奨学金・給付制度等

● 厚生労働省指定「専門実践教育訓練」給付制度

2年間で最大112万円の給付を受けることができます。受給には雇用保険の支払期間等の条件があります。

● 独立行政法人 日本学生支援機構 奨学金

国の教育事業として実施されています。月額50,000円～、家計基準等の条件があります。第一種利用者の成績優秀者に対する返還免除制度があります。

● 東京都看護師等修学資金

月額25,000円～、大学院修了後5年間都内施設に看護師・保健師・助産師として従事する等の一定の条件を満たすことで一部または全額返還免除になります。

※令和6年度実績



東京医療保健大学大学院 高度実践看護コース (修士課程)

国立病院機構キャンパス (東急田園都市線駒沢大学駅徒歩10分) 〒152-8558東京都目黒区東が丘2-5-1
 TEL : 03-5779-5031 URL : <http://www.thcu.ac.jp/> E-mail : higashigaoka-po@thcu.ac.jp